

第三章 敷設、掃海及爆雷投射(下)等ニ關スル諸則

第一節 敷設教練規則

艦團部隊ニテ實施スベキ敷設訓練ニ關スル事項ハ當初ハ海軍演習概則中ニ掲記セラレタルモノニ準據
スルノ外單行法規トシテハ見ルベキモノナク細目ハ艦隊、鎮守府若クハ直接實施部隊ノ定ムルトコロ
ニ依リシ(後記ス)モノナルガ大正四年内令第二百六號ニ依リ始メテ機械水雷敷設教練規則ノ發布ヲ見
タリ即チ水雷發射規則ノ發布ニ後ルルコト正十有六年ニシテ而カモ尙一般有線(管制)水雷ニ關スル

モノノ敷設規則ノ如キ終ニ發布ヲ見ズシテ終リシモノナリ而シテ敷設水雷ニ關スル斯種規則制定遲延ノ原因ヲ顧ミルニ關係教育訓練ハ幾分地方風土地勢等ニ依リ一律ニ統制規畫スルノ困難ナルモノアリシト亦敷設作業其ノモノガ局地防備演習トノ關係密接ナル爲演習視セラレタル情勢等相俟テ茲ニ到レルモノト認メ得ベキモ三十七、八年ノ教訓ハ此種法規制定ノ必要ヲ教ヘン（別記水雷ニ關スル諸制度調査委員會記事參照）ガ同戰後明治ノ晩年ヲ通ジ水雷界ノ空氣ハ魚雷方面ニ專心スルノ趨嚮アリシ結果荏苒終ニ大正四年ニ及ビシモノナリ

既記大正四年機械水雷敷設教練規則發布ノ理由トシテ掲記セラルルトコロ及該規則摘要左ノ如シ

一、理由

機雷敷設ニ熟練セシムルハ目下ノ急務ニシテ之ガ教育勵行ノ爲本規則ヲ設クルヲ適當ト認メタルニ依ル

二、機械水雷敷設教練規則（摘要）

總則

一、本則ハ防備隊及防備隊以外ノ機械水雷敷設裝置ヲ有スル艦船ニ於ケル甲種機械水雷敷設竝ニ之ニ關聯シタル諸作業ノ教練ニ關スル事項ヲ規定ス

二、機械水雷敷設教練ノ主ナル目的左ノ如シ

- (一) 各關係指揮官ヲシテ機械水雷準備及機械水雷敷設ノ指揮監督ニ習熟セシムルコト
- (二) 作業員ヲシテ機械水雷及附屬具ノ性能竝ニ其ノ狀態ヲ知悉シ以テ裝備敷設等ノ諸作業ニ習熟セシムルコト
- (三) 取扱者ヲシテ實地使用上ノ適否ヲ研究セシメ以テ斯術ノ進歩ヲ圖ルコト

三、機械水雷敷設ヲ行フニ當リテハ成ルベク航路漁場等ヲ避ケ交通産業等ヲ妨ゲザル如クシ且軍機保護ニ關シ充分注意ヲ拂フモノトス

四、機械水雷敷設教練ハ各種ノ狀況ニ於ケル機械水雷敷設ニ習熟セシムルモノトス

教練ノ爲機械水雷ヲ敷設スル場合ニハ兵器ヲ亡失セザル様充分ナル注意ヲ拂ヒ豫メ必要ナル施設ヲ爲シオクモノトス

五、敷設シタル機械水雷ハ沈置當日中ニ揚收スルモノトス

但シ教練ノ必要上又ハ其ノ他ノ事情ニ依リ當日揚收シ能ハザル場合ニハ所屬長官ノ認可ヲ受クルモノトス

六、本則ニ規定スル機械水雷敷設教練ハ毎年十二月一日以降ニ始メ翌年十一月末日迄ニ終リ左記回数ノ教練ヲ實施スルモノトス

機械水雷準備

二十回以上

機械水雷敷設

十回以上

一回毎ニ機械水雷十個ヲ使用ス

但シ敷設艦船ニ於ケル落下裝置ノ狀況ニ依リテハ右個數ハ之ヲ減ズルコトヲ得

機械水雷敷設教練ノ種類

七、機械水雷教練ヲ左ノ二種ニ區別ス

基本機械水雷敷設教練

應用機械水雷敷設教練

八、基本機械水雷敷設教練ハ機械水雷裝備及敷設準備並ニ敷設等ノ諸作業ニ習熟セシムルヲ目的トス

九、應用機械水雷敷設教練ハ編隊敷設法夜間及強潮ニ於ケル敷設法等各種ノ場合ニ於ケル機械水雷敷設作業ヲ研究練磨セシムルヲ

目的トス

十、機械水雷敷設教練ハ基本長之ヲ施行スルヲ例トス 但シ所屬長官必要ト認ムルトキハ麾下基本部ヲ聯合シテ之ヲ施行スルモノ

トス

應用機械水雷敷設教練ハ所屬ヲ異ニスル各部聯合シテ之ヲ施行スルコトヲ得

報 告 (略)

大正三年世界大戰已來機雷ノ戰術戰略的價值愈々顯著ヲ加フルト共ニ砲術ハ勿論水雷術中魚雷發射ノ如キ夙ニ檢定ノ制ヲ設ケラレシニ鑑ミ機雷敷設ニ於テモ斯術ノ進歩獎勵上檢定作業ヲ課スルノ急ヲ認メ差當リ大正六年度ニ於テ各鎮守府要港部ノ防備隊及ビ敷設艦船ニ對シ準檢定敷設ヲ課シタル結果檢定制度ノ緊要ヲ確メ得タルト爾後ノ兵器及訓練ノ進歩ニ應ズル爲大正六年十二月內令第三百二號ニ依リ新ニ機雷敷設規則ノ制定發布ヲ見ルニ至レリ(同時ニ前記機械水雷敷設教練規則ハ之ヲ廢止セラレ)本規則ノ前顯敷設教練規則ニ比シ改定ヲ加ヘラレタル主要點次ノ如シ

一、使用機雷數ハ毎回十個以上トシ現ニ借用ノモノヲ順次使用スルモノトス又敷設回数ノ内三回以上ハ夜間ニ於テ之ヲ行フモノトス

二、機雷敷設ヲ左ノ如ク區別ス

教練敷設 檢定敷設

三、教練敷設ハ之ヲ基本及應用ノ二種ニ區分ス

基本教練敷設ハ機雷裝備及敷設準備並ニ敷設ノ諸作業ニ習熟セシムルヲ目的トス

應用教練敷設ハ編隊、夜間、強潮時、深海、高速力ニ於ケル敷設等諸種ノ場合ニ應ズル各種ノ敷設法ヲ研究練習セシムルヲ目的トス

四、檢定敷設ハ敷設檢定ノ爲ニ施行スル敷設ヲ云フ

敷設檢定ハ機雷作業員ノ傳領檢定ヲ目的トス

五、敷設檢定ハ所屬長官之ヲ施行ス其ノ實施ニ關スル規定ハ毎年之ヲ告達ス
 六、敷設檢定委員及報告ノ件(略ス)

本規則ハ大正十四年ニ亘ル期間ニ於テ幾多ノ小改定行ハル其ノ主要點ヲ掲記セバ左ノ如シ

一、大正七年内令第四百二十七號

(一) 本則ニ依リ施行スル機雷敷設ハ供用機雷ヲ順次使用シ毎年十二月一日以後ニ始メ翌年十一月末日迄ニ終ルモノトス

(二) 本則ニ依リ施行スル機雷敷設區分及機雷敷設檢定ニ關スル規定ハ毎年之ヲ告達ス(訓練同敷ハ必要ニ應ジ毎年之ヲ變更スルヲ至當ト認ムルニヨル)

二、大正八年内令第四百十九號

(一) 檢定敷設及教練敷設ハ基本長之ヲ施行スルモノトス

三、大正十年内令第七十三號

(一) 敷設種別中「檢定敷設」ノ次ニ「戰團敷設」及「研究敷設」ヲ加フ(個人戰技ノ制成リシヨリ茲ニ三同ノ實施ヲ重テ逐次其ノ技能向上シ今ヤ基本部トシテ戰術ノ能力ヲ増進セシムル機運ニ到達セシガ故ナリ)

(二) 檢定敷設ハ敷設檢定ノ爲行フ敷設ニシテ機雷操作員ノ伎倆ヲ檢定スルヲ目的トス

(三) 戰團敷設ハ實戰ニ近遜セル特殊ノ狀況ノ下ニ之ニ對應スル敷設法ヲ研究練習スルヲ目的トス

(四) 研究敷設ハ特ニ艦船部隊ヲ指定シ單獨若クハ聯合ノ上指示研究項目ノ下ニ特種ノ敷設法並ニ機雷戰術ヲ研究試練セシムルヲ目的トス

(五) 教練敷設及檢定敷設ハ基本長之ヲ施行シ戰團敷設ハ所屬長官之ヲ施行スルモノトス

(六) 研究敷設ヲ施行スルトキハ敷設委員ノ一部ヲ特命スルコトアルベシ

四、大正十年内令第四百九十八號

(一) 機雷敷設規則ヲ機雷敷設訓練規則ニ改ム

(4) 檢定敷設ヲ除ク

(4) 基本長ハ機雷員伎倆檢定ノ目的ヲ以テ敷設檢定ヲ行フモノトス

本檢定ニ關スル規定ハ毎年之ヲ告達ス

斯クテ大正十四年十二月ニ至リ内令第三百三十四號ニ依リ本訓練規則全文ノ改定發布ヲ見タリ改正ノ要點ハ從來毎年度敷設檢定實施規程ヲ發布セラレタル處爾今之ヲ配布セズ本訓練規則ニ依リ之ヲ實施スル如クセル點ニ在リ關係條項ヲ示セバ左ノ如シ

第十八條、基本長ハ機雷員伎倆檢定ノ目的ヲ以テ敷設檢定ヲ行フモノトス

敷設檢定ハ基本長ノ指示スル基本教練敷設ヲ以ツテ之ニ充テ概ネ左記事項ニ就キ別個ニ又ハ相關聯シテ實施シ其ノ成績ニ應用效
 練敷設及戰鬪敷設ニ於テ必要ト認ムル項目ニ付キ審査セル成績ヲ加味シ機雷班ノ各配置毎ニ成績順序ヲ決定スルモノトス

操法、裝備(一回以上實裝ヲ行フモノトス)、搭載、敷設準備、敷設(實施回數ノ四分ノ一以上ヲ夜間ニ施行スルモノトス)、兵器其ノ他必要ト認ムル事項、防備隊ニ於

テハ前項ノ外機雷員ニ大掃海具ニ號ノ掃海訓練ヲ實施シ其ノ成績ヲ加味スルモノトス

大正十五年十二月一日内令第二百六十九號ニ依リ更ニ本規則ノ一部ヲ改定セリ即チ成績調査ニ關シテハ毎年戰鬪敷設實施規程中ニ規定セラレタルモ機雷敷設訓練規程中ニ規定セラルルヲ至當ト認ムルガ故ナリ其ノ要綱左ノ如シ

成績調査ニ關スル要綱

敷設成績ハ概ネ左記各號ヲ審査綜合シテ定ムルモノトス

- 一、敷設計畫ノ適否
- 二、兵器整備ノ適否
- 三、敷設指揮敷設運動法ノ適否
- 四、敷設原ノ確度

- 五、無効及故障機雷ノ多寡　六、敷設關係員操作ノ適否　七、應急諸操作ノ適否　八、通信連絡ノ適否
 九、敷設原ノ位置形狀並ニ附近ノ地勢　一〇、天候海面ノ狀況　一一、其ノ他必要ト認ムル事項

昭和三年末ヨリ翌四年初頭ニ互リ各術科ニ亙リ夫々訓練規則ノ改正ヲ見ルニ當リ機雷敷設訓練規則ニ於テモ昭和四年二月十三日內令第二十八號ヲ以テ一部ノ改定ヲ見タリ即チ左ノ如シ

機雷敷設訓練規則改正要點及理由

- 一、毎年發布セシ戰闘敷設實施規程中恒定的事項ヲ訓練規則ニ入ル戰闘敷設ニ關シテハ單ニ實施區分表及至要研究項目ノミヲ毎年告達シ委員及報告ノ處理ニ關スル事項ハ毎年變更ヲ要セザルニ付之ヲ訓練規則ニ入ルルヲ適當ト認ムルニ依ル
- 二、教練敷設ニ於ケル基本應用ノ區別ヲ廢ス
 敷練ノ實施ニ於テ基本應用ノ區別呼稱ヲ適當ト認メザルニ依ル
- 三、敷設檢定ハ一班ノ機雷員ヲ單位トシテ施行スルコトニ改ム
 従來機雷班ノ各配置毎ニ檢定ヲ施行シタルモ一機雷班ヲ單位トシ共同責任ヲ有セシムル必要アルニ依ル
- 四、報告ノ處理ヲ明確ニシ且多少ノ改廢ヲ行フ
 従來關係規程各所ニ散在シ且各種報告ノ内容及處理ニ關シ徹底ヲ缺キシニ依ル